

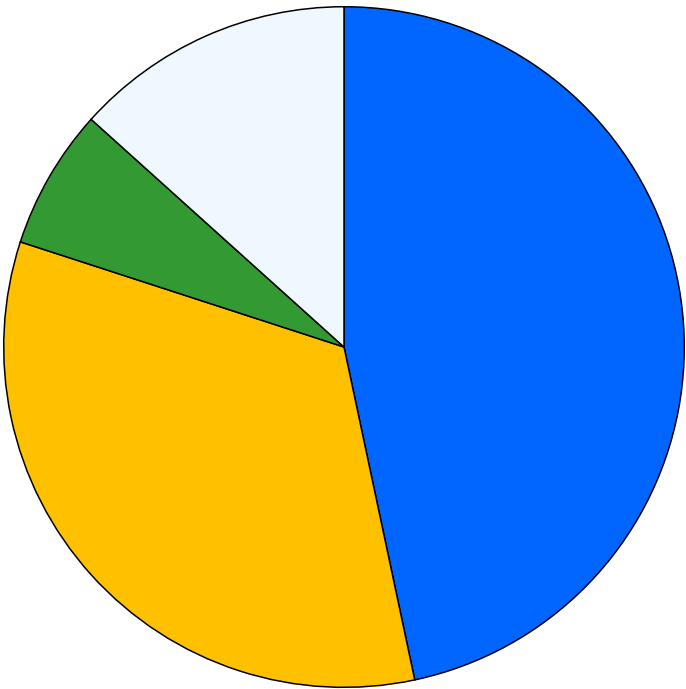
プログラム名 外国人材と「共に働く」未来のつくり方
～テクノロジーの力でフラットな社会へ～
第14回デジタルTERA小屋 鈴木晴美さん

単元名 RA

アンケートタイトル 外国人材と「共に働く」未来のつくり方
～テクノロジーの力でフラットな社会へ～ 第14回デジタルTER

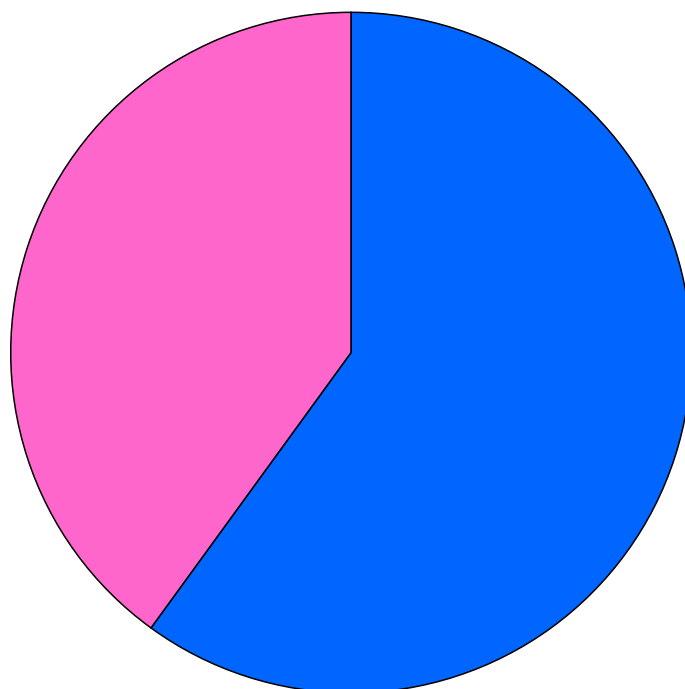
質問1 本プログラムを同僚や友人など身近な人におすすめしたいと思いますか。1
1段階でお答えください（10＝必ず勧める ～ 0＝勧めない）（択一式）

No	解答	人数	%
1	10＝必ず勧める	7	47%
2	9	0	0%
3	8	5	33%
4	7	1	7%
5	6	0	0%
6	5＝どちらでもない	2	13%
7	4	0	0%
8	3	0	0%
9	2	0	0%
10	1	0	0%
11	0＝勧めない	0	0%
合計		15	



質問2 本プログラムは、皆さまの働き方や生き方について考えるきっかけになりましたか。（択一式）

No	解答	人数	%
1	なった	9	60%
2	ある程度なった	6	40%
3	どちらもでない	0	0%
4	あまりならなかった	0	0%
5	ならなかった	0	0%
合計		15	



質問3 本プログラムにご参加いただいて、気付いたこと、これからご自身で実践したいと思ったことなどはありますか。
小さなことでも構いませんので、ぜひお聞かせください。（自由記述）

【自由記述】

- ・勉強になりました
- ・鈴木社長の頑張る力をすごく感じました。
途中の質問にもありましたが、そこまで頑張る気力や信念がすごいと感じました。
- ・自分を信じる事の大切さ。
- ・鈍感力はやっぱり大事だな、と思いました。私自身は鈍感な人間で、まわりが敏感で共感力が高い方が多いので、自分がダメだなあ、と思うことが多いのですが、流されすぎずに、我が道を極めるには、やっぱり鈍感力も大事ですね。
- ・少子高齢化の日本には外国人の働き手は絶対必要な存在なので、アジアのみならずグローバルから外国人人材が集まる日本となるよう身近なところから実践してみたい。
- ・管理職から経営者以上に必要とされる発信スキルについて、不足が目立つことが再確認できた。この課題は、先進国では、日本特有にも感じている。特に起業されている方の場合、生育歴や経歴の中で正しい対人発信教育を受けられない環境にあったり、企業や公的機関勤務の体験に乏しいと、立場に見合った態度や、正しい日本語はなし言葉の運用は難しいことがはっきりした。今回は、地方言葉(いわゆるなまり)の問題ではなく、全般としてon-offの切り替えに感覚が鈍いご様子が見受けられ、自らの周りに還元するヒントを多く得られた。
- ・学ばずに過ごした人生を悔いても悔やみきれませんが、残りは頑張ります。元気いただきました。
- ・身近であり、我々の生活に直面する課題に向き合う時間になりました。
また、鈴木さんの前に進むパワーに元気をもらいました。
- ・外国人材の採用は、これまで何度も失敗してきました。しかしながら、今後の人手不足も益々深刻になっていきますので、避けては通れない課題なのだと改めて感じました。もう一歩踏み出し、様々な人材を受け入れられるよう取り組んでいきたいと思います。
- ・皆が助かること、困り事を丁寧に解決していく活動が素晴らしいと思いました。私も自分や周りなことだけでなく、広い視野で物事を見て、改善していこうと思いました。
- ・起業の芽は色々な分野に眠っていると思いました。それを形にし、継続なさる力強さ、努力、覚悟が社会貢献につながっていくのですね。
- ・日本は高齢化、少子化で外国人の力が必要になっていますが、習慣も考え方も違う外国人と上手く共存できるにはどうしたら良いのかと考える時間をいただきました。
- ・外国人材の登用について前向きに検討する気持ちになった。
- ・会場参加の方との直接のコミュニケーションが取れるとより良いと思いました

質問4 鈴木さんへのメッセージ、全体を通してのご感想やご意見等ございましたら、ぜひお聞かせください。（自由記述）

【自由記述】

- ・早口なので理解するのが難しかったが、伊庭野さんがゆっくりした口調で整理してくださったのはよかった
- ・最近の日本では国粋主義みたいなものが強くなってきていると思いますが、外国人との共生が日本の将来にとって重要であることをぜひお仕事を通じて発信し続けていただきたいと思いました。
- ・楽しかったです。ありがとうございました。
- ・私も小さなソーシャルビジネスを経営して今年10期目です。そしてたぶん鈴木さんと同じくらいの年齢なのですが、最近守りに入って、チャレンジがおっくうになってしまいうことが多いのです。でも今日鈴木さんが、まだまだ日本の良い未来をイメージしながら、外国人材市場で、ビジネス的にもチャレンジしていこうという、意欲まんまんなところを感じて、私も攻めの姿勢を忘れず頑張ろうと思えました。ありがとうございます！
- ・ありがとうございました。
- ・鈴木晴美さん 本当に貴重なお話しをありがとうございました。回転数早いお話しに我がCPUが追い切れない部分がありましたが、録画公開版で学び直します。信じ切る、ひびきました。
- ・社会課題に取り組むことを仕事にし、ビジネスとして成り立つようにするのは大変なことですが、愛と行動力で切り拓くお姿に感銘を受けました。
- ・鈴木さんのチャレンジ精神には、頭が下がる思いです。数々の失敗を乗り越え、現在の成功に結び付くまで、相当なご苦勞があったと思いますが、それを感じさせないくらいの明るさで、お話しして下さったのが印象的でした。 本日のプログラムを通して、外国人材の雇用をどのように進めるべきか、少しヒントをいただけたような気がします。
- ・人生そのものが、尊敬できます。素晴らしかったです。 ありがとうございました。
- ・円安、低賃金で日本は今後も選ばれていく国になれるでしょうか。 知り合いのいない日本に来て頼りになるのが鈴木さんだけの状態になった時、私生活との切り分けがつくよう気をつけていることなど、かまたお話いただきたいと思いました。
- ・高校の時の印象とは違い、努力、起業する力は本当に素晴らしいと思いました。益々のご活躍を願っています。
- ・これからも精力的に活躍下さい。
- ・すごいバイタリティ 生き残る経営者に共通のこれまでの経験にとらわれず、新たな道を進む、という点を感じました とっても勉強になりました

質問5 今後、デジタルTERA小屋で取り上げて欲しいテーマやゲスト等がございましたら、ぜひお聞かせください。（自由記述）

【自由記述】

- ・ なかなかむつかしいとは思いますが、勇気や情熱で難局を乗り越って成功した事例をお話ししていただけると元気がもらえると思います。
- ・ AIがホワイトカラー職務を奪う「雇用の未来」について
- ・ 外国人の医療介護人材に関する事柄。 採用以降の問題について。
- ・ 仏門で修行する僧侶、頑張っている看護師、オーケストラの指揮者等の話しが聞きたい。
- ・ Z世代の育て方
- ・ 過疎化する地方の窮地をデジタル化で救っていけるのか。